

施策1-1-① 若い世代や子育て世代を意識したタウンプロモーション

◎若い世代の目線に立った情報発信や、広報媒体にビジュアル（視覚）性を取り入れるなど、若い世代や子育て世代が興味を引くタウンプロモーションを展開します。

《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 町公式SNSで年間に投稿（発信）した件数（毎年5月31日現在）	秘書広報課	回/年	227	250	659	A	有	250	新型コロナウイルス感染者情報が投稿の大部分を占めている。その他にも、コロナワクチン関係や給付金等、全体的にコロナ関連情報が多い	withコロナを踏まえた、再開するイベント情報や町の出来事等、魅力ある投稿を増やす
			R2. 5. 31	R3. 5. 31	R4. 5. 31					
2 町ホームページ年間閲覧数（毎年3月31日現在）	秘書広報課	万PV/年	70	96	93	A	有	75	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する情報収集等による閲覧数が多いと思われる。新型コロナウイルス関連の閲覧が落ち着いてきており、ほぼ横ばいの値となった	最新の情報を常に更新できるよう努める。知りたい情報が見つけやすい、分かりやすいHPづくりを目指す HPの新着情報をSNSやメールサービス等を用いてお知らせする
			R2. 3. 31	R3. 3. 31	R4. 3. 31					
3 Instagramで#武豊町を付けて投稿された数	企画政策課	万件	3.0	3.6	5.8	A	有	3.3	自らの活動を積極的に発信する人が増えている 他人と共有したい、教えたい場所等が武豊町内で増えている（屋内温水プール、ゆめくりん等）	コロナ禍で中止となっていたイベントを再開する等、町の魅力を発信できる場を増やしていく
			R2. 11. 24	R3. 4. 20	R4. 6. 8					

施策1-1-② まちへの愛着心の共有と増進

◎子どもや若い世代でも馴染みやすい共通のコミュニケーションツール等を作成・活用することで、町民のまちへの思いを共有し、愛着心の増進を図ります。

《重要業績評価指標（KPI）》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 「みそたろう」LINEスタンプ購入数（累計）	企画政策課	件	0	267	386	B		500	販売直後の話題性からの初期の購入が落ち着き販売数が落ち付いてきている	「みそたろう」LINEスタンプの広報媒体での周知、みそたろうの露出増加。（マンホール、コミュニティバスラッピング等）
			R2. 11. 1	R3. 3. 31	R4. 3. 31					
2 アンケート（中学生意識調査）にて「武豊町のことが好き」と答えた中学生の割合	企画政策課	%	86.2	93.6	93.6	A		90.0	武豊中央公園がオープンしたことや屋内温水プールのオープンが控えていたこと等、町の魅力増進につながる取組が進められたことが一つの要因と考えられる。 ○その他のアンケートでも値の向上が見られた住みやすいと感じる中学生の増加 (H30: 81.1%→R3: 86.6%) 住み慣れていて愛着があると感じる中学生の増加 (H30: 42.2%→R3: 48.9%) 地域の祭りや行事を楽しみにしている中学生の増加 (H30: 74.1%→R3: 79.7%) 町の歴史・産業等、町のことに興味がある中学生の増加 (H30: 30.7%→R3: 42.1%)	他の設問と比較して値が低い分野（町の歴史・産業等、町のことに興味がある等）の底上げを図り、町への愛着形成を図る
			H30	R3	R3					
3 町公式YouTubeチャンネルの総再生回数（累計）	企画政策課	回	55,449	63,819	71,179	B	有	105,000	保育園児向けのスマイル体操、ゆめころん関連動画が再生回数の多くを占めている	園児と保護者が一緒に楽しめる動画の配信等、視聴する層の拡大を図る
			R2. 11. 6	R3. 5. 11	R4. 5. 11					

判定
A: 目標値（R7）を超えている
B: 基準値から目標値の間を推移している
C: 基準値を下回っている（コロナ影響有のものはB）

**施策1-2-① 妊娠・出産・子育てに寄り添うまちづくりの推進**

◎妊娠・出産・子育て中の家庭をサポートできる体制の強化や、小さい子どもを連れて気軽に憩える場を充実させ、妊娠・出産・子育てに寄り添うまちづくりを推進します。

《重要業績評価指標 (KPI)》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 乳幼児健診(3か月児、1歳6か月児、3歳児)の問診で、「この地域で今後も子育てをしていきたい」と答えた割合	健康課	%	98.7	97.9	98.0	C→B	有	毎年98.7以上	平成28年度からの推移では、毎年97~98%の高い値で推移しており、変動の範囲内と思われる。支援者がこの地域外にいる方等は、コロナ禍で思うよう里帰りができなく、将来に支援者の近くでの子育てを考慮したことが原因として考えられる	感染対策がなされた状態で、安心して利用できる子育て支援施設の紹介をすることや、保護者のニーズをよく聞き取ったうえでの情報提供を行う
			R1	R2	R3					
2 アンケート(町民意識調査)における、0~18歳の子どもを持つ親の子育てしやすさに対する満足度	子育て支援課(企画政策課)	%	44.4		61.4	A		50.0	平成31年4月北中根こども園の開園、令和元年10月幼児教育・保育の無償化、令和3年度より緑丘児童クラブ棟の増設等による影響と思われる	保育園等の長寿命化や建替え、児童クラブの受け入れ拡大、児童発達支援センターの設置等の環境整備
			H30		R3					
3 子育て支援センターの利用者数	子育て支援課	人/年	20,083	11,326	12,252	C→B	有	24,000	新型コロナウイルス感染症対策のため利用制限を行ったことにより、利用者数減となった。(利用制限 令和4年3月22日まで)	十分な感染症対策を講じ、新型コロナウイルス感染拡大に柔軟に対応した施設運営を図る
			R1	R2	R3					

**施策1-2-② 子育てと仕事の両立がしやすい環境づくりの推進**

◎子育てと仕事の両立がしやすい環境づくりの推進のほか、男性の家事・育児参加への意識啓発等、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組みます。

《重要業績評価指標 (KPI)》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 0・1・2歳児保育の定員数	子育て支援課	人	334	334	334	B		361	子ども・子育て支援事業計画策定時のアンケート調査により把握したニーズ量にもとづき計画的に定員増を図っている	東大高保育園の建替えにより定員数の増加が見込まれる 現状では待機児童はいないものの、各年度の利用実績を踏まえて定員数は見直していく
			R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1					
2 児童クラブの定員数	子育て支援課	人	260	298	298	B		359	子ども・子育て支援事業計画策定時のアンケート調査により把握したニーズ量にもとづき計画的に定員増を図っている	児童クラブの利用者数が増加していることから児童クラブ室の計画的な新設を検討する 夏休み利用限定の申込の改善を行っている 各年度の利用実績を踏まえて定員数は見直していく
			R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1					
3 乳幼児健診(3か月児、1歳6か月児、3歳児)の問診で、「お父さんがよく育児をしている」と答えた割合	健康課	%	61.6	64.9	64.7	B	有	65.0	コロナ禍における企業の在宅ワーク制度の導入等から、父親が家庭にいたことにより、父親も育児に参加しやすい状況が継続していると思われる	家族で参加できる行事の周知や、健診等に母親以外の家族も気兼ねせず同行できる仕組み作りが必要
			R1	R2	R3					

判定
A: 目標値 (R7) を超えている
B: 基準値から目標値の間を推移している
C: 基準値を下回っている (加影響有のものはB)

施策2-1-① 安定した人材確保・雇用の創出に向けた支援

◎商工会等とも連携し、企業・事業所が安定して人材、雇用を確保できる仕組みづくりや情報発信を支援するとともに、新たな企業参入に向けた調査研究を進めます。

《重要業績評価指標 (KPI)》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 企業・事業所向けアンケートにて「人材確保ができています」と答えた企業・事業所の割合	産業課 (企画政策課)	%	51.7		67.0	A		62.0	製造業や運輸・郵便業で上昇傾向 (H30と比較) 一方建設業、サービス業、医療機関や福祉施設は低い状態が続いている	特に建設業、サービス業、医療機関や福祉施設における人材確保に関する取組について、商工会と連携しつつ検討していく
			H30		R3					
2 首都圏移住支援事業マッチングサイト登録件数	産業課	件	2	2	2	B		7	事業所の認知度が低い	庁舎内にパンフレットを設置予定 ホームページに掲載予定 企業立地意向動向調査業務におけるアンケートに制度に関するチラシを同封
			R2.10末	R3.4.1	R4.4.1					

施策2-1-② 働き方改革と女性の活躍推進に対する意識の醸成

◎働く人が個々の事情に応じて多様で柔軟な働き方が選択できるよう企業等へ環境整備や体制づくりを促すなど、働き方改革や女性の活躍推進に対する意識醸成を図ります。

《重要業績評価指標 (KPI)》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 企業・事業所向けアンケートにて「仕事と子育ての両立に向けた支援を行っている」と答えた企業・事業所の割合	産業課 (企画政策課)	%	56.5		62.4	A		61.0	ワークライフバランスや女性の活躍推進に関する意識が浸透してきている	ワークライフバランスや女性の活躍推進に関する啓発を継続する
			H30		R3					
2 愛知県の「ファミリーフレンドリー企業」登録企業数	産業課	社	3	3	3	B		5	事業所の認知度が低い	庁舎内にパンフレットを設置予定 ホームページに掲載予定 企業立地意向動向調査業務におけるアンケートに制度に関するチラシを同封
			R2.11	R3.4	R4.4					
3 国の「くるみん」および「えるほし」に認定された企業数	産業課	社	0	0	0	B		2	事業所の認知度が低い	庁舎内にパンフレットを設置予定 ホームページに掲載予定 企業立地意向動向調査業務におけるアンケートに制度に関するチラシを同封
			R2.11	R3.4	R4.4					

判定
A: 目標値 (R7) を超えている
B: 基準値から目標値の間を推移している
C: 基準値を下回っている (加影響有のものはB)

施策2-2-①

まちの駅「味の蔵たけとよ」周辺の回遊性の向上

◎知多半島5市4町との連携事業等による相乗効果や、まちの駅「味の蔵たけとよ」周辺の回遊性を向上させることで、武豊町への人の流れを強化します。

《重要業績評価指標 (KPI)》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 まちの駅「味の蔵たけとよ」年間来場者数	産業課	人/年	96,951	113,471	95,031	C→B	有	100,000	味の蔵たけとよのOPEN時から上昇傾向であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で今回、初めて減少となった。販売面積から、集客としては前回の値(R3確認)が上限の値だと考えられる	顧客を呼び込む施策を展開しつつ、目標値の100,000人規模の来場者数の維持を図る
			R1	R2	R3					
2 駅年間乗車人数(名鉄・JRの合計、定期以外)	産業課 (企画政策課)	千人/年	533	341	381	C→B	有	540	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、町の主要なイベントを開催することができなかったことが一つの要因だと考えられる(社会的な要因は、コロナ対策としてのリモートワーク等)	新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で、イベント開催
			R1	R2	R3					
3 知多半島回遊性向上事業ちたんぽ登録者数	産業課	人	10,481	11,749	13,258	B		14,000	毎年実施しているため、認知度が上がってきたことが考えられる	認知度の向上を継続実施
			R2. 3. 15	R3. 3. 28	R4. 3. 13					

施策2-2-②

武豊特有の地域資源の活用とPRの推進

◎武豊町ならではの伝統産業である味噌・たまり等のPRや、武豊町が誇る企業・事業所との連携を強化することで、地域資源の磨き上げとブランド力の向上を図ります。

《重要業績評価指標 (KPI)》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 観光協会Facebookフォロワー数	産業課	人	766	765	877	B		900	武豊町の特産品等の投稿回数を増やしたため	積極的な投稿やPRの継続
			R2. 11. 12	R3. 4. 1	R4. 4. 1					
2 ふるさと納税年間寄付額	産業課	万円/年	1,403	2,482	2,773	A	有	1,680	ふるさと納税制度の品目増加や認知度の向上が図られたことそして、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛も要因と思われる	ふるさと納税制度の品目増加や認知度の更なる向上
			R1	R2	R3					
3 まちの駅「味の蔵たけとよ」における、味噌・たまり関連商品の年間販売数	産業課	個/年	18,682	22,215	24,225	A		19,200	来場者数は減っているが販売数は伸びていることから、一人当たりの購入数が増えている。各種フェアや品揃え等による成果と思われる	顧客を呼び込む施策を展開し、顧客の増加につなげるとともに、各種フェアや品揃え等により一人当たりの購入数を伸ばしていく
			R1	R2	R3					

判定
A: 目標値 (R7) を超えている
B: 基準値から目標値の間を推移している
C: 基準値を下回っている (コロナ影響有のものはB)

施策3-1-① 将来のまちづくりを担う人材の発掘と育成

◎新たなまちづくりの担い手の発掘と育成を促進するとともに、さまざまな住民参加の手法や広報により住民の興味・関心を高め、まちづくりのすそ野を広げます。

《重要業績評価指標 (KPI)》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 公募の住民が参加できる会議等の件数	企画政策課	件/年	5	6	5	B		10	計画策定等の新たな会議自体の数が増えていないことによる	新たに会議を発足する際に住民協働による会議の検討
			R1	R2	R3					
2 町が主体となって実施するワークショップへの参加者数(延べ人数/年)	企画政策課	人/年	67	35	76	B	有	90	withコロナに向け、新型コロナウイルス感染防止対策を図り、ワークショップを開催することができた	新たにワークショップを発足する際に、住民協働によるワークショップの検討
			R1	R2	R3					
3 「協働のまちづくり連続講座」参加者数(累計)	企画政策課	人	161	161	237	B	有	241	コロナウイルス感染症拡大の影響により、全てオンライン開催 例年は全6回程度の連続講座に、全て参加が前提だったが、今年度は個別の講座が中心だったため、参加者が例年に比べて多かった	SNSや各種団体等を通じて募集する等、集客方法の検討 ターゲットを絞ったテーマ選定等、講座の内容の検討
			H25～R1	H25～R2	H25～R3					

施策3-1-② 多様な主体と連携したまちづくりの推進

◎NPOやボランティア団体だけでなく、金融機関、大学、民間企業のノウハウや資金の活用など、多様な主体とのパートナーシップによるまちづくりを推進します。

《重要業績評価指標 (KPI)》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 提案型協働事業交付金の採択件数(累計)	企画政策課	件	34	37	38	B	有	54	コロナ禍による町民団体の活動の制限等	5月：アンケート実施(町内NPO、ボランティア、役場職員) まちづくり懇談会でアンケート結果から協働の更なる推進について意見交換をして、改善策を検討
			R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1					
2 包括連携協定に基づき実施した事業数	企画政策課	事業	13	10	8	C→B	有	20	コロナ禍により中止された事業があったため	新たな包括連携協定の締結 (R3：明治安田生命)
			R1	R2	R3					
3 企業版ふるさと納税制度の活用事業数(累計)	企画政策課	事業	0	0	0	B		1	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載の2つの新規事業で募集したが、企業理念が会わずに寄附に至らなかった	対象事業を一覧で整理して、拡大企業へのPRを積極的に実施する R4.6～ 町内企業数社へ訪問 企業立地意向動向調査業務において、制度に関するチラシを同封
			R2.11.13	R3.4.1	R4.4.1					

判定
A：目標値 (R7) を超えている
B：基準値から目標値の間を推移している
C：基準値を下回っている (コロナ影響有のものはB)

施策3-1-③ 健康で楽しく暮らせ、生涯活躍できるまちづくりの推進

◎高齢化の進展を見据えて、青年期から楽しく健康づくりに取り組める環境整備を推進するとともに、誰もが生涯にわたり活躍できるまちの実現を目指します。

《重要業績評価指標 (KPI)》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	数値向上のため必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 アンケート(町民意識調査)にて、「普段から健康に心がけている」と答えた人の割合	健康課 (企画政策課)	%	83.9		82.0	C→B	有	85.0	コロナ禍で外出自粛を余儀なくされている状況では、これまでの生活に比べると体を動かす機会が減っている事実はあり、その結果と予測する。	健康たけとよスマイレージ事業の推進 企業と連携した啓発活動等の推進
			H30		R3					
2 憩いのサロンボランティア登録者数	福祉課	人	328	321	274	C→B	有	338	・新型コロナウイルス感染拡大により、サロンの開催自体が縮小している ・ボランティアの新規登録が少ないため ・学生ボランティアの卒業 ・ボランティアの高齢化に伴い、体調悪化や体力的理由のため	・新規ボランティアの獲得 ・ボランティア活動へのインセンティブ付与 ・活気のある活動支援を行い参加者からボランティア移行を促す
			R2.2	R3.3	R4.3					
3 18~39歳の国民健康保険加入者のうち、あおば検診を受診した人の割合	健康課 (保険医療課)	%/年	33.1		30.8	C→B	有	毎年33.1以上	コロナ禍での外出自粛により、個人の行動における検診の優先度が下がったと思われる。変動の範囲内と思われる。次回の値の推移を注視する。	健診の必要性の周知。コロナによる身体・社会活動の低下が及ぼす健康問題へフォーカスを当てた情報提供が必要
			R3.1~2		R3.9~12					

施策3-2-① 環境への理解を深め、脱炭素を意識したまちづくりの推進

◎環境に関する学習やイベント等の実施により環境への理解を深めるとともに、再生可能エネルギーへの転換や緑化などへの意識を高め、脱炭素型のまちづくりを推進します。

《重要業績評価指標 (KPI)》	所管課	単位	基準値 (計画策定時)	実績値 (R3確認)	実績値 (R4確認)	判定	新型コロナウイルス 感染症の影響	目標値	考えられる原因	改善に向けて必要と思われること
			測定日又は年度	測定日又は年度	測定日又は年度			(R7)		
1 コミュニティバスの利用者数	防災交通課	人/年	61,617		63,605	B	有	72,000	コロナ禍での外出自粛により利用者が減少しているが、徐々に上昇し復調傾向にある。 (R1:70,753人、R2:58,223人)	抗菌・抗ウイルスコーティングを始めとする感染症対策実施に関する周知の継続。利用促進事業の実施。
			H30		R3					
2 1人あたりの家庭系ごみ(資源除く)の排出量	環境課	g/日	533		463	B	無	440	・R3.4~ごみ処理有料化によって、燃やさなければならぬごみ(可燃)が減り、プラスチック製容器包装や紙類等、資源物の分別が増えた ・H30.3~刈草・剪定枝の分別収集も影響があると考える	・ごみの減量化、資源物の分別への更なる普及・啓発
			H30		R3					
3 アンケート(町民意識調査)にて、「省エネルギーやリサイクルに心がけている」と答えた人の割合	環境課 (企画政策課)	%	83.8		86.1	B		90.0	光熱費の高騰、R3.2ゼロカーボンシティ宣言をきっかけとして、町民の省エネルギー・資源化についての意識が向上した	・再生可能エネルギー・省エネルギー・高効率機器等の導入について普及・啓発 ・ごみの減量化、資源物の分別徹底について普及・啓発
			H30		R3					

判定
A: 目標値 (R7) を超えている
B: 基準値から目標値の間を推移している
C: 基準値を下回っている (コロナ影響有のものはB)